

Zummo Z14 : 初期設定のご案内

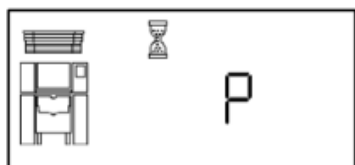
1.P モードの実施

お使いいただく地域によって、搾汁カップが正しい位置で停止しない場合がございます。



正しい位置で停止しない場合は、下記の手順で P モードを実施してください。

- ① かごの中身を空にしてください。
- ② マシンの電源を切ってください。
- ③ ON ボタンを押しながら電源を入れてください。
- ④ パネルに P の文字が表示されます。(表示されない場合は②③を繰り返してください。)



- ⑤ もう一度 ON ボタンを押してください。マシンが動作を始めます。
- ⑥ マシンが自動で停止するまでお待ちください。(約 15~20 分)
正しい位置で停止しない場合は、もう 1 度 ON ボタンを押してください。
正しい位置で停止したら調整成功です。
- ⑦ 一度電源を切り、通常通り(何もボタンは押さずに)電源を入れてください。

※⑤～⑥の動作を 3 回以上繰り返しても正しい位置で停止しない場合は、
弊社コールセンターまでご連絡ください。

2.ご使用いただく際のモード設定

工場出荷時には「1001 自動設定モード」という操作モードが設定されています。

「4104 : セルフサービスモード」と「1002 : マニュアルモード」から用途に合わせてご希望のモードを設定してください。

操作方法

	4104 : セルフサービスモード	1002 : マニュアルモード
操作方法	PUSH ボタンを押すとすぐに絞りはじめ。	パネルのボタンにて操作。
動作	PUSHボタンを押し込むと、ジュースが作動を開始します。PUSHボタンを離すとマシンは停止します。	ディスプレイで絞りたい果物の数を設定します。ONボタンを押すと、設定した数の果物を絞ります。

起動手順

	4104 : セルフサービスモード	1002 : マニュアルモード
起動	PUSHボタンは押し込んでいない状態で電源を入れます。	PUSHボタンを押し込んだ状態で、奥側レバーでロックをかけた状態にしてから電源を入れます。
操作モードの確認	1 秒間 PUSHボタンを押し続けると、自動的に「4104 : セルフサービスモード」に切り替わります。	自動的に「1002 : マニュアルモード」に切り替わっています。
注意点	このモードでは、パネルのボタンで操作はできません。 一度電源を切ると、次回起動時は「1001 : 自動設定モード」となり、PUSHボタンを長押しして「4104 : セルフサービスモード」へ切り替わるまで、パネルでの操作が可能となります。	PUSHボタンが押し込まれていない場合、ONボタンを押してもマシンは動作しません。 ディスプレイには「CLOSED TAP」というテキストと、絞られたトレイの点滅アイコンが表示されます。 レバーでロックをかけ、PUSHボタンが押し込まれた状態に戻すとエラーが消え、再度使用可能となります。
備考	電源入り切りに関わらず、恒久的に「4104 : セルフサービスモード」に設定することもできます。 また、PUSHボタンを押してから動作を開始するまでの秒数も変更できます。 詳細はユーザーマニュアルP5をご覧ください。	設定した個数を変更できないよう、セレクトボタンのロックが可能です。 詳細はユーザーマニュアルP6をご覧ください。